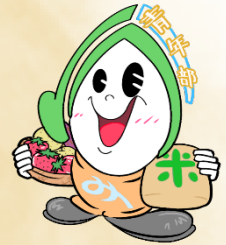


俺たちの！



JA なす南 青壮年部



令和5年 ポリシーブック

～みんなでやれば楽しさ100倍～



JA 青年組織綱領

我々 JA 青年組織は、日本農業の担い手として JA をよりどころに地域農業の振興を図り、JA 運動の先駆者として実践する自主的な組織である。

さらに、世界的視野から時代を的確に捉え、誇り高き青年の情熱と協同の力をもって、国民と豊かな食と環境の共有をめざすものである。

このため、JA 青年組織の責務として、社会的・政治的自覚を高め、全国盟友の英知と行動力を結集し、次のことに取り組む。

1. われらは、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域社会に貢献する。

JA 青年組織は、農業の担い手として地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて地域社会において環境・文化・教育の活動を行い、地域に根ざした社会貢献に取り組む。

1. われらは、国民との相互理解を図り、食と農の価値を高める責任ある政策提言を行う。

人間の「いのちと暮らし」の源である食と農の持つ価値を高め、実効性のある運動の展開を通じて、農業者の視点と生活者の視点を合わせ持った責任ある政策提言を行う。

1. われらは、自らが JA の事業運営に積極的に参画し、JA 運動の先頭に立つ。

時代を捉え、将来を見据えた JA の発展のため、自らが組織である JA の事業運営に主体的に参加するとともに、青年農業者の立場から常に新しい JA 運動を探求し、実践する。

1. われらは、多くの出会いから生まれる新たな可能性を原動力に、自己を高める。

JA 青年組織のネットワークを通じて営農技術の向上を進めるとともに、仲間との交流によって自らの新たな可能性を発見する場を作り、相互研鑽を図る。

1. われらは、組織活動の実践により盟友の結束力を高め、あすの担い手を育成する。

JA 青年組織の活動に参加することによって、個人では得られない達成感や感動を多くの盟友が実感できる機会をつくり、このような価値を次代に継承する人材を育成する。

(注釈) 本綱領は、JA 全青協設立の経過を踏まえて「鬼怒川 5 原則」「全国青年統一綱領」の理念を受け継ぎ、創立 50 周年を契機に現代的な表現に改めるとともに、今後目指すべき JA 青年組織の方向性を新たに盛り込んだものである（平成 17 年 3 月 10 日制定）

ポリシーブックとは・・・

- 一言で表すと「J A 青壮年部の政策・方針集」となります。
- その作成にあたっては現在の政策が出発点とするのではなく、J A 青壮年部の盟友一人ひとりが営農や地域活動をしていく上で抱えている課題や疑問点について、盟友同士で解決策を検討して、とりまとめている点が特徴です。
- また、そこには行政やJ Aグループに要請することだけではなく、まず自分たちで解決に向けて努力し、取り組むことを明記しています。
- つまり、農業や地域の課題に対して「まず自分たちはこれをする。どうしても自分たちで無理なことはJ Aや行政と一緒に取り組む。」という姿勢のもと、「自分たちの行動目標」と「積み上げによる政策提案」の両方を備えたものがJ A 青壮年部の「ポリシーブック」です。

JA なす南 青壮年部 令和5年 ポリシーブック



JA YOUTH

—目 次—



1. 販売力の強化について
2. 地域住民への農業理解の促進
3. 生産環境対策に伴う組織力の強化
4. リーダーシップのある農業後継者の育成

1. 販売力の強化について

【現状と課題】

- ◇生産資材の価格が高騰している。
- ◇農産物価格が安定しない。
- ◇農畜産物のブランド化を図っているが、消費者に対して十分に浸透、認知されていない。

【解決策】

【1】個人・JA青壮年部として取り組むこと

- ◇収量確保や高品質な農産物の生産を目指す。
- ◇積極的にJAに出荷する。
- ◇SNS等の情報ツールの活用や栽培講習会・現地検討会等に参加し、情報共有や知識と意識の向上を図る。
- ◇GAP取得や輸出に向けた対策のための勉強会・研修会等に参加する。
- ◇地元イベントに積極的に参加し、消費者と直接触れ合える機会を増やす。
- ◇JA青壮年部及び青壮年部員の農畜産物のPR活動を行う。
- ◇JAのふるさと便で、青壮年部部員の農産物を使用して欲しい。

【2】JAに提案・要請すること

- ◇販売情勢・直売所等イベント情報の提供を行って欲しい。
- ◇GAPの取得や輸出に向けた対策に向けて研修会や勉強会の開催をして欲しい。
- ◇SNS等を活用し農産物のPRを行って欲しい。

【3】行政に提案・要請すること

- ◇イベントの開催・PR活動や情報発信を行って欲しい。
- ◇農畜産物を生産するための補助事業を継続して欲しい。
- ◇GAPの取得推進や輸出に向けた対策、継続的な支援をして欲しい。

2. 地域住民への農業理解の促進

【現状と課題】

- ◇一般消費者の農業に対する理解が少なく、食の安全・安心ばかりが注目されている。
- ◇農業の魅力を十分に伝えられていない。

【解決策】

【1】個人・青壮年部で取り組むこと

- ◇各種イベントに積極的に参加し、交流を図る。
- ◇子供たちや保護者に向けて、農業の楽しさや食の大切さを伝える活動を行う。
- ◇農業の魅力や農産物等のPR活動が出来るよう、情報発信力の強化を行う。
- ◇SDGsに対応した活動を行う。

【2】JAに提案・要請すること

- ◇JA新人職員の農作業体験では、青壮年部員に依頼して欲しい。
- ◇農福連携についての説明会や取組を行って欲しい。
- ◇情報発信を積極的に行って欲しい。

【3】行政に提案・要請すること

- ◇教育機関と連携して、将来農業者を目指す学生たちとの交流会を設けて欲しい。
- ◇農福連携の取組みが行えるよう支援をして欲しい。
- ◇農薬散布・罨など、地域住民へ理解を得られるようにして欲しい。

3. 生産環境対策に伴う組織力の強化

【現状と課題】

- ◇異常気象により災害が多発しており、農業施設や農産物にも被害がある。
- ◇鳥獣害被害が多くなってきている。
- ◇労働力の確保が難しく、規模拡大が出来ない。

【解 決 策】

【1】個人・青壮年部で取り組むこと

- ◇SNSを活用し、災害の情報を伝え合う。
- ◇鳥獣害被害の実態を把握し、対策に取り組む。
- ◇労働力がいつ・どれだけ必要なのかを把握する。

【2】JAに提案・要請すること

- ◇災害時対応研修会を開催して欲しい。
- ◇電気柵や罾などの資材を充実させて欲しい。
- ◇雇用についての説明会や相談会を開催して欲しい。

【3】行政に提案・要請すること

- ◇市や町で災害があった場合、状況をいち早く把握し、情報提供を行って欲しい。
- ◇鳥獣害対策研修会等の開催について、生産者に随時情報を提供できるような仕組みにして欲しい。
- ◇労働力解消に向けてJAと協力し、支援をして欲しい。

4. リーダーシップのある農業後継者の育成

【現状と課題】

- ◇ 農業者の高齢化・後継者不足が深刻である。
- ◇ 活動の魅力が伝えきれていない。また、盟友数の減少が進んでいる。
- ◇ 事業承継が行われず、後継者が農業経営に本格的に参加出来ていない。

【解 決 策】

【1】個人・青壮年部で取り組むこと

- ◇ 盟友同士の交流を行うため、視察研修会や交流会等を開催する。
- ◇ 講師を招き、農業に関わる研修会や自己啓発セミナーへ参加する。
(意識や考え方向け)
- ◇ 事業承継を行うためにも、先を見据えた経営ビジョンを明確にする。

【2】JAに提案・要請すること

- ◇ JAなす南青壮年部を対象とした、各種説明会や研修会を開催して欲しい。
- ◇ 雇用についての説明会や相談会を開催して欲しい。
- ◇ JAから新規就農者に対し、青壮年部への加入を促進して欲しい。

【3】行政に提案・要請すること

- ◇ 補助金や給付金に関する説明会の開催。
- ◇ 新規就農者への説明会等に、青壮年部への案内を行って欲しい。



JAなす南 青壮年部の概要



- 「JAなす南青壮年部」は平成30年度の総会において、本部・なかがわ支部・南那須支部の統廃合により発足しました。
- 現在（令和5年8月）の部員（盟友）は48名で、20代から50代までの農家を中心に構成されています。
- 活動内容は、食育活動・地域貢献活動・レベルアップ活動等を行っています。

【令和4年度】（活動内容の一部抜粋）—新規活動

- 3月 新入職員との交流会（1）
- 5月 管内の園児を対象とした食育活動の実施（定植）
- 6月 視察研修会（山形県）（2）
- 7月 ドライブスルー販売（夏満点セット）（3）
- 7月 女性会と合同JA常勤役員との意見交換会
- 10月 令和4年度JA青年大会（組織活動実績発表の部）（4）
- 10月 管内の園児を対象に食育活動の実施（収穫）
- 10月 県連盟「農青祭」への参加
（なす南セット・コラボベーグル販売・重さ当てゲーム実施）（5）
- 11月 JAまつりへの参加（餅の販売・ミニ四駆コーナー）
- 12月 女性会と合同フードドライブ提供活動（6）
- 12月 関東甲信越地区青年大会（組織活動実績発表の部）
- 1月 JAなす南青壮年部ユースセミナー（インボイス制度について）



↑（1）



↑（2）



↑（3）



↑（4）



↑（5）



↑（6）



各種情報発信ツール



↑Instagram

↑エックス（ツイッター）

↑フェイスブック

活動の投稿をしています。『JAなす南青壮年部』で検索！

お問い合わせ先



那須南農業協同組合

営農部営農指導課 青壮年部事務局

〒324-0513

住所：栃木県那須郡那珂川町白久10番地

TEL：0287-96-6170

FAX：0287-96-5996



↑JAなす南ホームページ
「青壮年部コーナー」

